

明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願いいたします。

この時期の北海道といえばスキー＆スノーボードシーズンということで、自宅から30分とほど近いサッポロテイネスキー場へ初滑りに行ってきました。こちらのスキー場は1972年の冬季オリンピック会場としての歴史もあります。全15コース・最長滑走距離が約6000mと広大なエリアで初心者から上級者の方まで楽しめる、私が子供時代から通っているゲレンデです。

当日は16時から20時迄のナイター営業の時間帯でしたので2コースのみ解放されておりましたが、それほど混雑することなく体力の限界が来るまで12本ほど滑ることができました。もちろん、翌日から3日間ほど筋肉痛になり日頃の運動不足を実感しましたので、今年は体力向上と健康第一を目標に取り組みたいと思います。

札幌営業所(所長:清水 壮次郎)

岩手県盛岡三大麺のひとつのじゃじゃ麺をご紹介します。

今回、盛岡駅ビルのフェザンの中にある、こちらの店舗の前に行列を見つけたのがじゃじゃ麺をいただくきっかけでした。お店の名は『元祖盛岡じゃじゃ麺白龍(ぱいろん)』さんで、じゃじゃ麺発祥店とのことです。駅ビルという事もあってか、スーツケースを持った出張風の方も多数見えました。半数以上は地元であろう方のでこのお店のルールなのか独特の食べ方をされていたので、並んでいる間は何かだか少し緊張していました。

いざカウンターへ通されると、目の前には食べ方教本が置いてありましたので熟読しました。女性店員の方よりアドバイスを受けて無事じゃじゃ麺セットを注文することができ、じゃじゃ麺を食べた後は鶏蛋湯(チータンタン)もカウンター越しにお願いし、教本通りいただきました。じゃじゃ麺とチータンタンは必須ということですが、この独特の食べ方ルールというものがあってこそ、おいしさと旨味を引き出しているように思えました。

盛岡三大麺といわれる冷麺・じゃじゃ麺・わんこ蕎麦、そのうちのひとつのじゃじゃ麺、まさに名物だと思いました。

東日本物流センター東日本営業本部(センター長:木下 敦裕)



世界の拠点から
-From the base in the world-



あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願いいたします。

さて、今年2025年は平穏なお正月でした。今年は巳年と言う事で、初詣は巳年にもゆかりのある神社でお参りしようと思い、天河大辨財天社に行きました。弁財天は七福神の女神。ルーツはインド・ヒンドゥー教の女神。巳(へび)は弁財天の使いとされ、今年は弁財天のご利益を授かるには最適な年という事です。財運、芸能、学問、音楽など幅広いご利益があります。

方角も重要で、特に東南(巽)は風水で財運を象徴する方位とされる為、我が家の東南方向にある奈良吉野郡天川村の天河大辨財天社はピッタリと思い、参拝しました。元旦に訪れたのですが、参拝者は非常に多く、午後2時より並びはじめ4時半過ぎに無事参拝できました。参列者の中にはバスの時間が間に合わず、諦めて帰られる方も見えました。長時間並び鳥居をくぐってもうすぐと思ってからも30〜40分かかりましたが、苦労した分、達成感もありお参り出来て良かったと思いました。



大阪営業所(所長:藤谷 弘行)

皆様いかがお過ごしでしょうか。

今回は名古屋の星が丘にオープンしたスーちゃんハウスを紹介いたします。

ご存じの方、ラーメンを食べられたことがある方も多いと思いますが、スーちゃんハウスのスーちゃんとは、名古屋地区を中心に展開しているラーメンチェーン店『スガキヤ』のキャラクターです。既存のスガキヤ店舗とは異なり、このキャラクター：スーちゃんの家をイメージしてオープンした店舗です。外観は正面に大きなスーちゃん看板があり、内装は従来の店舗と違い、いたるところにスーちゃんのモチーフもあり、カフェのようなかわいらしい空間となっています(男性だけだと若干入りにくいかも)。

また、たこ寿というたこ焼き屋も併設されていて、スーちゃんをかたどったスーちゃん焼き(たい焼のような感じです)や、このスーちゃんハウス限定メニューもいくつかあります。まるごと生ポテトというフライドポテトやスーちゃんシェークなどです(ポテトを食べましたが、美味しかったです)。

今までとは異なった雰囲気のスガキヤ、皆様も行かれてみてはいかがでしょうか。

名古屋営業所(所長:高橋 鉄夫)

明けましておめでとうございます。

さて、年末からの連休で過去一番の体重を更新し続けている私ではございますが、お正月のハレの日によく食べられます『お雑煮』を今回取り上げたいと思います。

お雑煮といえば、一年のはじめの朝に楽しみにしている2大巨頭の一つ！(もう一つはお年玉です)一般的に餅の入った汁物が雑煮と呼ばれるそうですが、出汁一つを取っても地域それぞれ。合わせて餅の形や調理法、具材とともになると、知られている雑煮だけでも全国で100種類は下らないそうです。また具材一つ一つにもそれぞれ意味があり、新年の始まりに一年の無事を祈る食べ物として根付いていったようです。

改めて福岡県の代表的なお雑煮ですが、基本はぶり雑煮、あごだしベースで具材はぶり、干しシイタケ、タケノコ、里芋、かしわ(鶏肉)、ニンジン、かまぼこ、するめ、かつお菜とお餅です。年末で疲れ切った胃にはとても優しく、それぞれの具材の出汁が良く出ていて、食べるとホッとする味です。新しい年が始まったとしみじみと感じられ、人の幸せを願いながら食べる大切な料理というのは素晴らしいと思います。

話は変わりますが、今年一年が皆様方にとって素敵な一年であることをお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

福岡営業所・沖縄配送センター(所長:江頭 慎司)

インドネシアでは盛んなスポーツがいろいろあります。前にもお話したように、中でも一番盛んなのはサッカーとバドミントンです。バドミントンはアジア大会、世界大会でよく優勝しています。しかし、サッカーは成績が振るわず、東南アジアの試合でも優勝はほとんどないです。

1、2年前からインドネシアサッカー協会の新しいリーダーが指揮をとり、2026年のFIFAワールドカップに参加できるようにプロジェクトが始まりました。どのぐらい膨大な資金がかかり、どのように短期間で選手のレベルアップを行うのか分かりませんが、本当に夢みたいプロジェクトです。ここ最近、インドネシアのサッカー選手は、条件付きでインドネシア国籍になった外国人選手が多くなってきました。去年から始まったFIFAワールドカップ予選で良い成績を得て、日本と同じグループCで現在第3位にあります。引き続き今の良い成績を保ち、第2位になればFIFAワールドカップに参加することは遠い話ではないと言われています。

今年の3月から試合が再開され、オーストラリア、バーレーン、中国、日本と戦う予定になっています。どの国も手強い相手ばかりなので、より力を入れるために、オランダからPatrick Steven Kluivert(パトリック・ステーフエン・クライファート)が新しいコーチとして任命されました。さらに、チームの外国人選手もほとんどがオランダ出身で、コミュニケーションの不自由が無くなり、スムーズに指示をすることができるようになりました。インドネシア人は2026年のFIFAワールドカップの参加の可能性をとて楽しみにしています。

KJI(インドネシア)(工場長:S.Akhyar)

～スマホでもできるけど知ってる?～

中国でのデジタル社会の発展エピソードは、これまでもいくつか紹介してきました。スマホ1つ持てば、財布いらず、家の鍵いらず、車のキーもいらず。免許証などの身分証もスマホの中。バッテリーが残り5%でも、街中の至る所に貸し充電器があります。さっと借りて、また近くのボックスへカチャンと戻せばOKです。おじさんの私が知っているだけでもこれ程ありますので、きっと私が知らない驚きのデジタルツールが、まだまだあることでしょう。

時代の進化に振り落とされそうな私が、先日新たな発見をしました。普段、現金は全く使わない中国生活ですが、ちょっとまとまった現金が必要になり銀行へ行かなくちゃ、と。ところがATMまで来て、キャッシュカードを忘れたことに気づきました。財布を持たないことがすっかり習慣化していました。しかし、中国のATMってスマホでもできるかも?と、久しぶりにATMの画面を見ると、そこにはスマホで引き出す用のメニューができていました。銀行アプリを立ち上げてそれらしきメニューをたどり、個人用QRコードをかざしてみると、無事に現金引き出し成功です。

日本でもきっとできるのでしょうね。しかし、中国では現金を使わないので、日本人仲間でも知らない人が多かったです。しばらくの間、お酒の席では「スマホでもできるけど知ってる?」とプチ自慢をしておりました。

KHE(中国・蘇州)(総経理:山本 博史)

Happy New Year! 新年明けましておめでとうございます!

みなさん、新しい一年が始まりましたね! 日本では、この時期になると美味しいおせち料理を囲みながら家族と過ごすのが定番ですね。そして、お年玉や新年のご挨拶など、お正月ならではの行事が盛りだくさん。やっぱり、日本ではお正月が一年で一番大切なイベントという印象があります。

一方、アメリカではやっぱりクリスマスが主役! 街全体が華やかなイルミネーションで彩られ、どこを見てもキラキラしていてとても素敵です。特に個人宅のデコレーションには驚かされます。それぞれが工夫を凝らしたライトアップや巨大なクリスマスツリーが並び、どこをドライブしても楽しい気持ちになります。私もこの季節を存分に楽しみました。

アメリカではクリスマスがとても特別な日で、家族と静かに温かい時間を過ごします。多くのお店やレストランが閉まり、年末はゆったりとしたクリスマス休暇を楽しむ一方、年始のスタートは早めです。反対に、日本では年末まで忙しく働き、新年を迎えてからゆっくりと過ごすのが一般的です。それぞれの文化には独自のリズムがあり、どちらも私にとって魅力的で大好きです。

もしまだ経験したことがない方がいれば、一度アメリカのクリスマスシーズンを旅行で体験してみてください! 華やかで心温まる季節の雰囲気を楽しめるはずです。

改めまして、今年もどうぞよろしくお願いいたします!

KCS(アメリカ)(GM:Ayano Donnelly)

1月29日に、中国では春節(旧正月)を迎えました。今年は、占星術で木蛇の年になります。中国人にとってこの時期は、家の掃除をしたり、お正月飾りや服、食べ物などを買い込んだり、とても忙しい時期です。シンガポールの人口の74%以上は中国人なので、多くの人が同時に買い物に出かけ…どこも混雑しています。

ある週末の朝10時頃、私たちは大きなスーパーマーケットに行きました。しかし、あーあ…特に食べ物を売っているコーナーにはたくさんの方がいました。商品をカートで運ぶと、間違いなく移動が大変です。オレンジは、中国語で発音が『成』や『吉』など縁起の良い単語に似ているため、旧正月に最も人気のある果物です。そのため、予想通り、多くの人が買い求めました。オレンジとミカンの交配種である紅美人と呼ばれる果物があり、これはシンガポール人の間でかなり人気です。この果物はもともと日本原産で、中国の浙江省で栽培されていることを知りました。春節のシーズンは、お祝いのために安い価格で購入できます。

木蛇の年が皆様に幸運、健康、成功をもたらすことを祈念しております。明けましておめでとうございます!

KIO(シンガポール)(E.Wong)

私は個人的に、全くタバコを吸いません。しかし、最近の世の中では『電子タバコ(ペイプ)』という選択肢があります。電子タバコは、特に若い世代の間で、喫煙の代替として人気が高まっています。従来のタバコよりも安全な選択肢として販売されており、ニコチン、香料、その他の化学物質を含む『ペイプリキッド』と呼ばれる気化された液体を吸入します。

喫煙よりも害が少ないとはいえ、リスクゼロとはほど遠く、いくつかの重大な健康上の危険をもたらします。主な懸念の1つは、非常に中毒性の高いニコチンの存在です。ニコチンは、脳の発達に害を及ぼし、記憶力、注意力、学習能力に悪影響を与える可能性があります。ニコチンを含まないペイプリキッドでさえ、肺疾患に繋がる可能性のあるジアセチルなどの有害物質や、鉛などの重金属が含まれてしまう場合があります。電子タバコは呼吸器系の問題にも関連しています。気化された化学物質を吸入すると肺が刺激され、ポップコーン肺(閉塞性細気管支炎)やEVALI(電子タバコ関連の肺障害)などの症状に繋がりと、命に関わることもあります。

さらに、電子タバコの発展は比較的新しい事柄であるため、長期の使用による影響はほとんど分かっていません。電子タバコの魅力は、その風味、洗練されたデザイン、社会的受容にあります。しかし、この手軽さは、新しい世代がニコチン中毒になるのではという懸念材料になっています。電子タバコの蔓延とそのリスクに対処するには、公衆的な健康運動とより厳しい規制が不可欠です。喫煙者の一部の禁煙に役立つかもしれませんが、将来の世代を守るために、その危険性を認識し、指導することが重要です。

KIO(オランダ)(Marvin de Laat)